

2024（令和6）年度和歌山支部 事業報告について



2024（令和6）年度和歌山支部K P I 結果

担当	事業計画		KPI	R5実績	R6目標	R6実績	支部達成度	協会全体の達成度	協会全体
業務	基盤的	1	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	100%	○	○	100%
		2	現金給付等の申請に係る郵送化率	91.8%	91.8%以上	92.2%	○	○	95.8%
レセプト	保険者機能関係	3	協会のレセプト点検の査定率	0.241%以上	0.241%以上	0.142%	×	×	0.131%
		4	協会の再審査レセプト1件当たりの査定額	7,311円	7,311円以上	8,937円	○	○	9,908円
		5	返納金債権（診療報酬返還金不当を除く）の回収率	76.59%	76.59%以上	81.68%	○	○	66.20%
		6	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	86.62%	86.62%以上	85.07%	×	×	81.36%
保健	戦略的	7	生活習慣病予防健診受診率	52.3%	58.5%以上	53.3%	×	×	58.4%
		8	事業者健診データ取得率	14.6%	15.1%以上	16.8%	○	×	7.2%
		9	被扶養者の特定健診受診率	24.1%	27.8%以上	28.3%	○	×	29.4%
		10	被保険者の特定保健指導の実施率	19.2%	21.4%以上	17.1%	×	×	20.3%
		11	被扶養者の特定保健指導の実施率	32.5%	36.5%以上	18.9%	×	×	17.1%
		12	健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	31.8%	31.8%以上	35.9%	○	○	33.9%
企画総務	関係	13	健康宣言事業所数	874事業所	1,000事業所以上	1,008事業所	○	○	105,343事業所
		14	ジェネリック医薬品使用割合	80.7%	80.0%以上	86.7%（2月時）	○	○	89.0%、 全支部80%以上
		15	全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	63.9%	64.7%以上	65.1%	○	○	54.2%
		16	健康保険委員の委嘱事業所数	3,323件	3,323件以上	3,510件	○	○	328,886件
	組織	17	一般競争入札に占める一者応札の割合	20.0%	15.0%以下	10.0%	○	○	10.7%

令和6年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

基盤的保険者機能の盤石化

項 目		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
(1) 健全な財政運営		■ 中長期的な視点による健全な財政運営に資するよう、支部評議会で説明を行い、保険料率に関する議論を行った。 ■ 今後、更に厳しさが増すことが予想される協会の保険財政について、加入者や事業主にご理解いただくため、協会決算や今後の見通しについて、各種広報媒体にて広報を行った。		■ 今後についても、支部評議会で丁寧な説明を行い、保険料率に関する議論を行っていく。 ■ 加入者や事業主に対し、協会の保険財政についてご理解いただくため、情報発信を行っていく。			
(2) 業務改革の実践と業務品質の向上							
①	業務処理体制の強化と意識改革の徹底	■ 5月、10月、1月にジョブローテーションを実施し多能化を推進した。 ■ 毎月職場討議を行い、情報の共有及び課題の整理を行った。 ■ 管理職が職員（契約職員を含む）と毎月1on1面談を行い、個人ごとの能力や課題を把握するとともに、職員の意識改革となるように指導、助言を行った。 ■ 定期的に勉強会やテストを実施することで生産性、効率性、知識の向上を図った。		■ 定期的にジョブローテーションを実施し、勉強会や業務処理速度の測定を介して効果的に職員の多能化を図る。 ■ 1on1面談や職場討議を実施し、管理職と職員間でのコミュニケーションの活性化を図る。 ■ 業務処理体制や相談体制における課題の洗い出しを行い、段階的に改善を行う。			
②	サービス水準の向上	■ サービススタンダード（全支部共通の受付から10営業日以内に振込までを完了させる給付金）について、日々の進捗管理を徹底し目標の100%を達成した。 ■ お客様の利便性向上や負担軽減の観点から、すべての届書・申請書について、郵送提出が可能な旨をホームページや各種広報媒体を活用し発信した。また、電話相談対応時においても郵送による提出を推奨し、それら取り組みの成果もあり目標を達成した。 ■ 電話及び窓口の接遇に係るお客様満足度調査の結果から支部の課題を洗い出しのうえ、加入者サービス向上計画を更新し改善に取り組んだ。また、例年協会全体で実施する「お客様満足度調査」を踏まえ、計画どおり、接遇スキル向上を目的とした外部講師による支部独自研修を実施した。（令和7年1月実施）		■ 正確・迅速・丁寧な事務処理を行い、サービス水準の向上に取り組む。 ■ 引き続き、サービススタンダード100%の達成を目指す。 ■ サービススタンダードの平均所要日数7日以内を維持する。（参考：令和6年度4.70日） ■ 手続きの相談時、お客様の利便性を意識した対応を行うとともに、ホームページの活用や郵送による申請を案内することで、申請書類に係る窓口での受付率を対前年度以下とする ■ 業務担当者研修などの本部研修に適切な職員を参加させ、その内容について支部内で共有しスキルアップを図る。			
		KPI	サービススタンダードの達成状況	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
				100%	100%	100.0%	○
		KPI	現金給付等の申請に係る郵送化率（R7より窓口受付率）	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
				91.8%	91.8%以上	92.2%	○

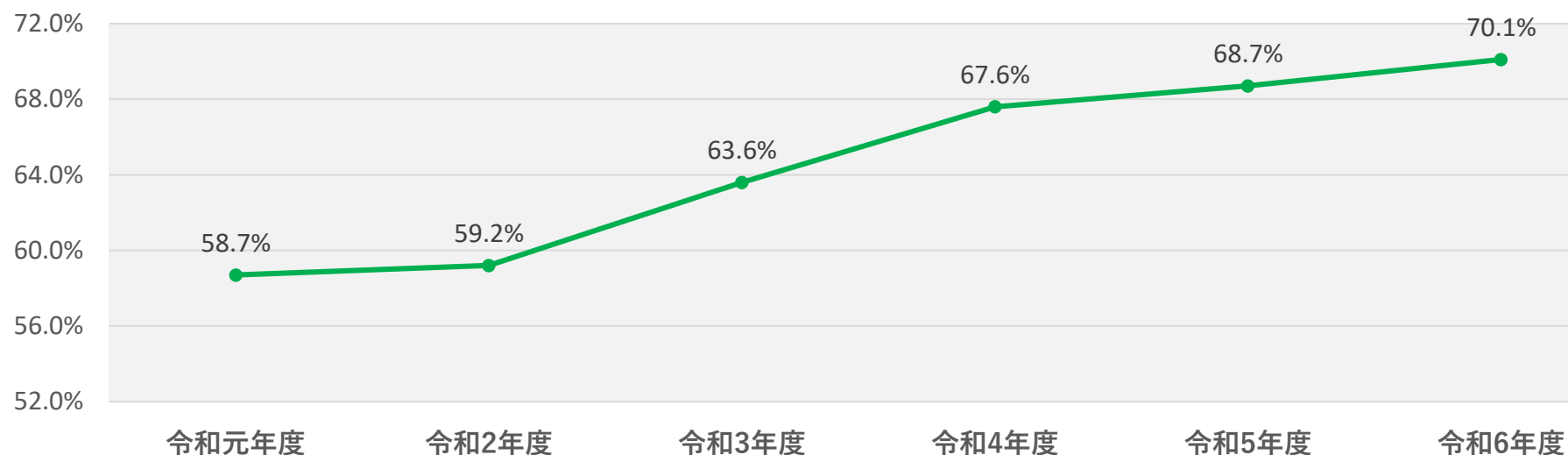
項 目		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
③	現金給付等の適正化の推進	■ 不正請求が疑われる傷病手当金及び出産手当金の事後調査を実施し、不正請求の防止に努めた。 ■ 海外出産に係る出産育児一時金等の支給事務の一層の適正化に向けて、海外出産の事実確認を徹底のうえ支給決定を行った。 ■ 傷病手当金との併給調整について、障害年金等は月次で進捗管理を徹底し、労災休業補償給付は労働基準監督署へ照会を行うなど、給付適正化を推進した。 ■ 不適切な施術や不正請求疑いのある接骨院・整骨院に対し、面接確認委員会を開催のうえ面接確認を実施した。（5件実施）	■ 傷病手当金の併給調整における進捗管理を徹底し適切に対応する。 ■ 多部位、頻回、過剰施術にあたる柔整療養費の患者照会を行い適正受診を推進する。 ■ 特に柔整療養費など不正が疑われる事案については厳格に対応することとし、また、関係団体（和歌山県国民健康保険団体連合会及び県内保険者）と共同で不正対策防止に向けて強化して取り組む。 ■ 長期、頻回にあたるあはき（鍼灸・あんまマッサージ）療養費の患者照会を行い適正受診を推進する。			
	レセプト点検の精度向上	■ 自動点検システム等を活用した効率的な点検を図った。システムメンテナンスについては、点検効果が減少した項目の削除を重点実施し、効率的な点検に繋げた。 ■ 他支部の高額査定事例を可視化し活用することにより、高点数レセ優先の意識を醸成した。 ■ 点検員個人別の強み・弱みを分析。課題解消に向け情報共有とフィードバックを行った。 ■ 近隣支部と連携し、外部講師を招いた研修や点検員同士の勉強会を開催。タイムリーな事例や新たな点検ポイントの習得等によるスキルアップを図った。 ■ 支払基金との対面協議を定期的に行い、支払基金の原審や査定に対する知見を吸収することにより、質の高い点検を志向した。	■ システムメンテナンスにおいては、他支部の査定事例を分析し、点検効果の高い項目を自支部のマスタに取り入れることにより、効果的な点検を図る。 ■ 点検範囲の割り当て方法等、点検体制の見直しを検討し、効果的な点検を実施する。 ■ 近隣支部と引き続き協力連携し効果的な研修の機会を確保することにより、効果的な点検に繋げる。			
④		KPI 協会のレセプト点検の査定率	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
			0.241%以上	0.241%以上	0.142%	×
		KPI 協会の再審査レセプト1件当たりの査定額	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
			7,311円	7,311円以上	8,937円	○

項 目		主な取り組み内容等	今後の課題と対策				
⑤	債権管理・回収と 返納金債権発生防止 の強化	<保険証回収> ■ 回収フローのスケジュールに則り、速やかに文書催告を実施。また、回収不能届により電話番号の判明したものには電話催告を実施した。 <債権回収> ■ 催告フローのスケジュール管理を徹底し、債務者への早期お知らせを確実に実施した。 ■ 保険者間調整を積極的に活用することにより、債務者の負担軽減と確実な回収に繋げた。 ■ 訪問催告・電話催告を定期的かつ継続的に実施し、早期回収を図った。 ■ 複数回の催告にも応じない債務者に対しては、弁護士名による催告を実施。また、高額、悪質等の債務者に対しては、法的手続（支払督促、強制執行）を実施した。 ■ 年金事務所と協力し、長期の遡及喪失により発生する返納金について、事業所への広報を行うことによりスムーズな回収に努めた。	<債権回収> ■ 住所照会や現存事業所への催告を積極的に活用することにより確実な回収に繋げる。 ■ 高額な債務者には早期にアプローチを行うことにより円滑な回収を図る。				
			KPI 返納金債権（診療報酬返還金不当を除く）の回収率	R 5 実績	R 6 目標	R 6 実績	達成度
				76.59%	76.59%以上	81.68%	○
			KPI 年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	R 5 実績	R 6 目標	R 6 実績	達成度
	86.62%	86.62%以上	85.07%	×			
(3) I C T 化の推進		■ 令和 6 年12月2日から健康保険証の新規発行終了、マイナ保険証の本格利用開始に伴い、資格情報のお知らせを個人あてに令和6年9月9日発送（12,360件）、事業所あてに令和6年9月25日発送（14,992事業所、267,159件）した。 ■ 協会の登録と住基の登録で、漢字氏名、カナ氏名、住所のうちいずれかまたは全て一致しない者について、被保険者あてに確認文書を令和 7 年 3 月 2 5 日に発送（575件）した。	■ マイナ保険証の利用促進に向け、本部より示された計画及びスケジュールに基づき、着実に実施する。 ■ 令和 8 年 1 月に開始される電子申請に向けて、本部より示された計画及びスケジュールに基づき、着実に実施するとともに、それを踏まえた業務体制や業務手法について検討する。				

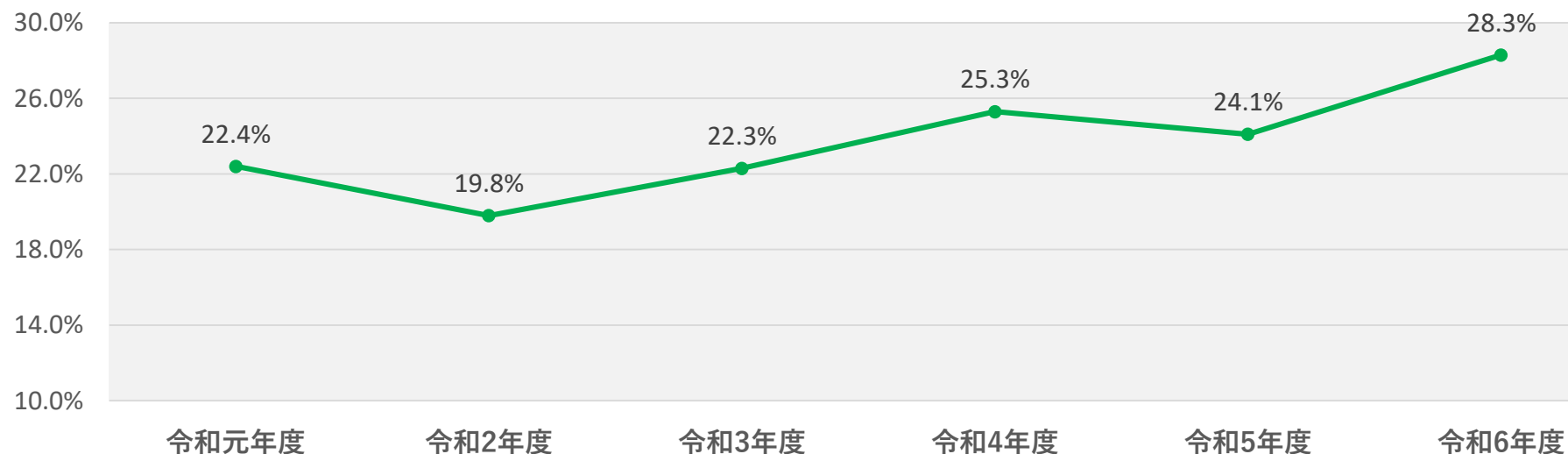
令和6年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

項 目		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
戦略的保険者機能の一層の発揮	(1) データ分析に基づく事業実施	■ 医療費・健診データ等を活用して医療費の地域差や健診結果リスク等について分析を行った。また、分析結果については支部ホームページに掲載し、広く周知を行った。 ■ 調査研究事業として、令和7年度の協会けんぽ調査研究フォーラム発表に向けて、「喫煙にかかる職場の健康づくりの取組に関する効果研究」について取り組んだ。	■ 統計分析者の育成。 ■ 分析結果に基づいた事業の実施。			
	(2) 健康づくり					
	① 保健事業の一層の推進	■ 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の推進 <保健事業の充実・強化に向けた基盤整備> ■ 契約保健師の充足に向けた採用（2名） ■ 保健師等の資質向上のための全国研修の受講・ブロック別研修の実施	■ 採用活動の継続的な取り組み			
	② 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上	<生活習慣病予防健診対策> ■ 健診機関不足地域や加入者の多い地域を中心に集団健診を設定。（4市3町、17回実施） ■ 被保険者個人宅への勧奨DMの送付（一般：52,040人・付加該当者：10,757人） <事業者健診データ取得対策> ■ 事業者健診データ取得に関する業務を外部委託にて実施。（外部委託によるデータ取得件数 5,983件） <被扶養者の特定健診対策> ■ 協会主催集団健診の実施。（24日程実施） ■ 付加価値を付与した女性向け集団健診（ホテル健診）の実施。（上期9月：2日程・460名）（下期3月：4日程・733名） ■ 協会主催集団健診と自治体がん検診との合同実施。（和歌山市3日程、海南市、橋本市） ■ 特定健診未受診者に対するアンケートの実施（回収：1252件・回収率：9.4%）	<生活習慣病予防健診対策> ■ 令和8年度からの人間ドック健診に向けた準備 ■ 業界団体との広報連携。 <事業者健診データ取得対策> ■ 管理職による事業所訪問（対面依頼） <被扶養者の特定健診対策> ■ ホテル健診の実施時期、特典のブラッシュアップ。 ■ アンケートによる意識調査と分析。			
KPI 生活習慣病予防健診受診率		R5実績	R6目標	R6実績	達成度	
		52.3%	58.5%以上	53.3%	×	
KPI 事業者健診データ取得率		R5実績	R6目標	R6実績	達成度	
		14.6%	15.1%以上	16.8%	○	
KPI 被扶養者の特定健診受診率		R5実績	R6目標	R6実績	達成度	
		24.1%	27.8%以上	28.3%	○	

被保険者健診(生活習慣病予防健診+事業者健診)受診率 (令和元年度～令和6年度)



被扶養者特定健診受診率(令和元年度～令和6年度)



戦略的保険者機能の一層の発揮

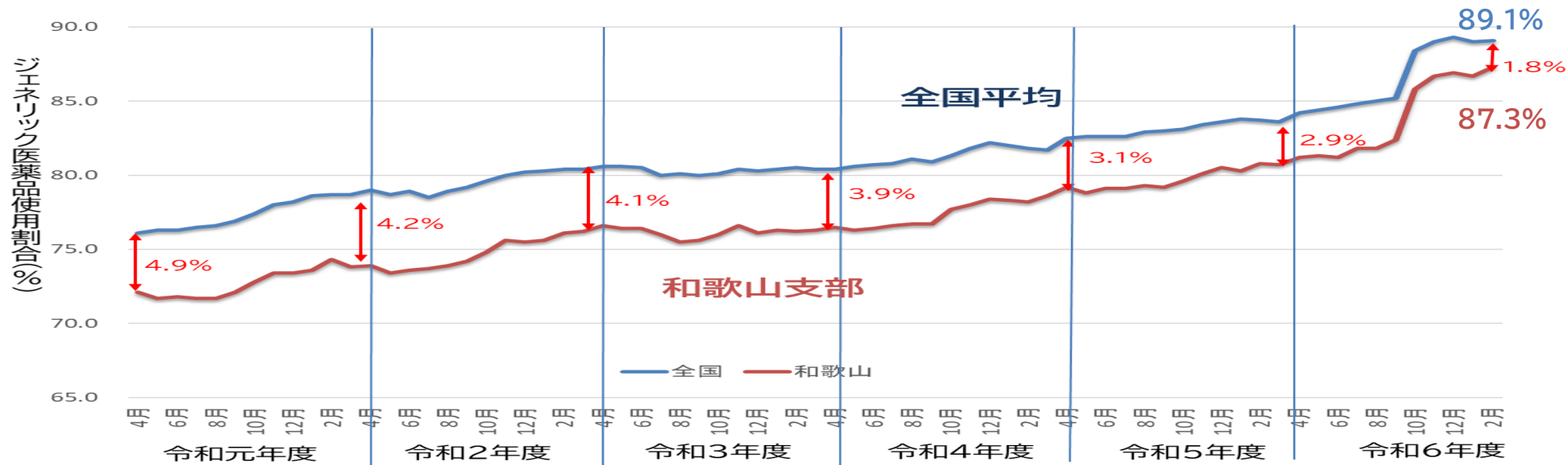
項 目		主な取り組み内容等		今後の課題と対策						
③	特定保健指導の実施率及び質の向上	■ 特定保健指導実施件数 被保険者 2,669件（前年度 2,866件） 被扶養者 135件（前年度 192件） 〈被保険者の特定保健指導対策〉 ■ 特定保健指導外部委託の推進 健診機関・民間業者による保健指導実施：評価550件（前年度669件） 民間業者による保健指導は I C T 遠隔面談・エバグリーン保険調剤薬局での特定保健指導実施 ■ 支部が初回面談を実施した者の継続支援を民間業者へ委託。評価1,840件（前年度2,117件） 〈被扶養者の特定保健指導対策〉 ■ 協会主催の集団健診で、健診当日の特定保健指導を実施できる会場を設定。 31会場で実施。（485人初回面談実施） ■ 「ヘルスアップ相談会」を開催（事業所での面談ができなかった方へ個人勧奨を実施） 歯科検診・ベジチェック測定・特定保健指導を実施 参加者 8/4：11名 9/22：22名			■ 健診当日の特定保健指導実施機関の拡大をする。 ■ 特定保健指導実施事業所の開拓をする。 ■ 事業所での保健指導実施が難しい人への遠隔面談や保険調剤薬局での保健指導などを案内し利用機会の拡大を図る。					
		KPI 被保険者の特定保健指導の実施率	R5実績	R6目標					R6実績	達成度
			19.2%	21.4%以上					17.1%	×
		KPI 被扶養者の特定保健指導の実施率	R5実績	R6目標					R6実績	達成度
			32.5%	36.5%以上					18.9%	×
④	重症化予防対策の推進	■ 高血圧・血糖高値・LDLコレステロール高値者で未受診者への文書勧奨・電話勧奨・訪問による受診勧奨を実施。 二次勧奨：（文書：4,175件 電話：139件 面談：155件） ■ 2年連続LDLコレステロール高値者に対する受診勧奨用として、新規の案内リーフレットの作成。 ■ 健診当日の受診勧奨 13健診機関・270件（94名が受診へ） ■ 腎機能の疑いのある方への専門医への受診勧奨および保健指導の実施。 （受診勧奨 80件 保健指導 0名）			■ 健診機関と連携しながら当日受診勧奨の強化を図る					
		KPI 健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	R5実績	R6目標					R6実績	達成度
			31.8%	31.8%以上					35.9%	○

戦略的保険者機能の一層の発揮

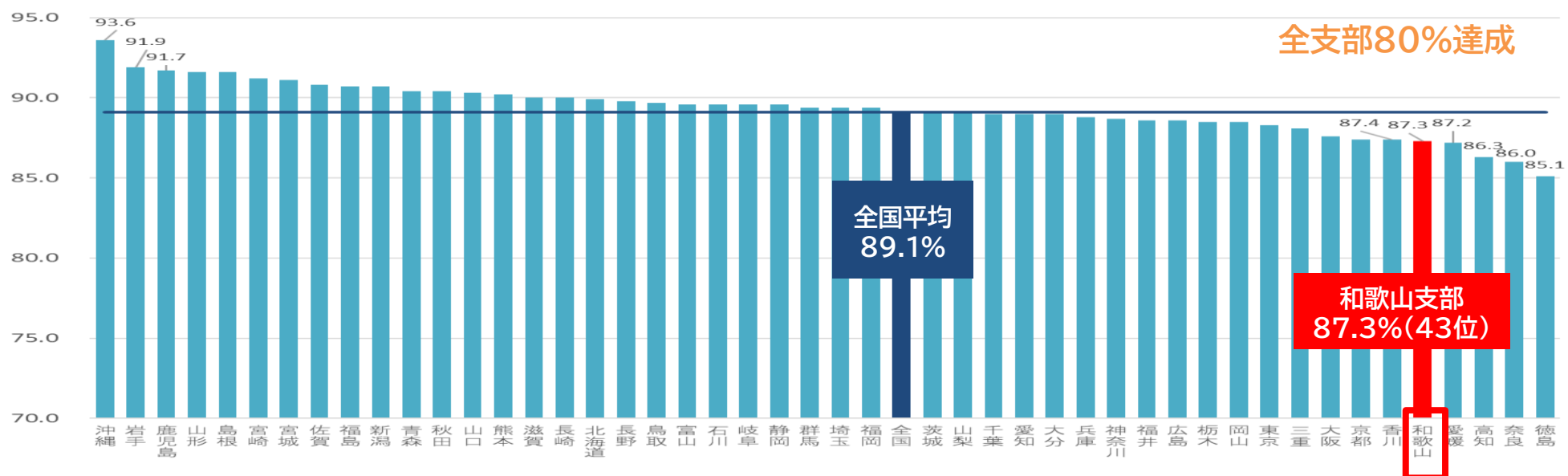
項 目		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
⑤	コラボヘルスの推進	■ 健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を和歌山県と共同実施。 （新規登録事業所141社） ■ 「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録勧奨を実施。（文書・電話勧奨実施） ■ 登録事業所に対するサポートの実施。（健康講座16件、血管年齢測定器45件、Inbody・出前講座申し込み30件） ■ 健康経営優良法人認定に対するフォローの実施 認定事業所：前年度101社→121社認定（協会加入事業所） ■ オンラインによる健康経営セミナーの開催(7月、9月)		■ 「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録事業所の拡大。 ■ 健康経営優良法人認定事業所の拡大。 ■ 健康宣言後のフォローアップの強化。			
		KPI	健康宣言事業所数	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
				874事業所	1,000事業所以上	1,008事業所	○
(3) 医療費適正化							
①	医療資源の適正使用	i) ジェネリック医薬品の使用促進 ■ 加入者へジェネリック医薬品軽減額通知を送付（R6.9[6,368件]） ■ 路線バスおよび公用車を活用した広報を実施。（ラッピング、車内放送） ■ 後発医薬品リストを調剤薬局に提供およびホームページで公開。 ii) バイオシミラー（バイオ後続品）の使用促進 ■ 令和6年度に10支部で実施したパイロット事業の成果を踏まえて、関係団体（都道府県、病院薬剤師会、薬剤師会）や医療機関への働きかけを全支部で実施することとした。 iii) 上手な医療のかかり方 ■ 時間外診療、重複受診について、各種広報媒体にて啓発。		■ ジェネリック医薬品の使用促進については、令和6年10月に導入された選定療養の検証を行い、検証結果を踏まえた施策の実施。 ■ 加入者に対する効果的な広報の実施。 ■ 県・医療関係機関等との連携の推進。			
		KPI	ジェネリック医薬品使用割合	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
				80.7%	80.0%以上	86.7%（2月時）	○

項 目		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
戦略的 保険者 機能の 一層の 発揮	② 地域の医療提供体制 等へのデータを活用した 意見発信	■ 地域医療構想の実現に向けて協議の行われる「地域医療構想調整会議」において、県内7医療圏中、6医療圏に和歌山支部から委員を選出し、参画し意見発信を行った。	■ 医療費情報等を分析研究し、効果的な意見発信を行える体制の整備。			
	③ インセンティブ制度の実 施及び検証	■ インセンティブ制度における5つの評価項目について取り組み、令和5年度実績はインセンティブを受けられる順位（全国12位）となり、令和7年度保険料率に反映されることとなった。 ■ HP、メルマガ等各種広報媒体で、和歌山支部のインセンティブ制度の実施結果を周知した。	■ 加入者、事業主にインセンティブ制度の仕組みや意義を理解していただくための広報の実施。			
	（４）広報活動や 「顔の見える地域ネットワーク」 を通じた加入者等の理解促進	■ 広報計画に基づき、各種媒体（HP・メルマガ・県広報誌・地域生活情報誌等）を利用した広報を実施。メルマガ新規登録件数：272件 ■ 健康保険委員の委嘱拡大のため、登録勧奨を実施。 健康保険委員：前年度3,562人→3,841人 ■ 永年の活動や功績に対して感謝の意を表すため、健康保険委員表彰（理事長表彰2名、支部長表彰4名）を行った。	■ 健康保険委員委嘱数の増加。 ■ 小規模事業所への健康保険委員登録勧奨。 ■ 加入者、事業主の協会けんぽ事業に対する理解を促進できる広報の実施。			
		KPI 全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
			63.9%	64.7%以上	65.1%	○
		KPI 健康保険委員の委嘱事業所数	R5実績	R6目標	R6実績	達成度
			3,323件	3,323件以上	3,510件	○

ジェネリック医薬品使用割合の推移(令和元年4月～令和7年2月)



協会けんぽ支部別ジェネリック医薬品使用割合(令和7年2月診療分)【数量ベース】



令和6年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

保険者機能の強化を支える組織・運営体制等の整備	項 目		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
	(1)	人事制度の適正な運用	■ 人事評価制度の運用を通じて、実績や能力本位の人事評価を実施。	■ 今後も引き続き、実績や能力本位の人事評価を実施する。			
	(2)	更なる保険者機能の発揮に向けた人材の育成	■ 日々の業務遂行を通じた人材育成（OJT）を中心とし、それを補完する集合研修と自己啓発を組み合わせて人材育成に取り組んだ。	■ 引き続き、OJT、集合研修、自己啓発により、必要とされる知識を習得できる機会を提供する。			
	(3)	支部業績評価の向上	■ 各グループが支部業績向上に向け各事業について積極的に取り組みを行った。 令和6年度業績評価15位（令和5年度14位）	■ 業績評価結果を検証し支部課題への対策を実施する。			
	(4)	内部統制の強化	■ コンプライアンス委員会の定期開催（2回）、支部コンプライアンス研修の実施。 ■ 本部コンプライアンス通信による啓発。 ■ 災害リスクに対し、安否確認システム、支部初動対応訓練及びビルにおける避難訓練の実施。 ■ 個人情報保護、情報セキュリティにおいて、管理職による毎月の端末チェック、自主点検及び全職員への研修の実施。	■ 引き続き、研修等を通じて、コンプライアンス基本方針、行動規範の理解及び浸透させるなどの意識醸成を図る。 ■ 定期的な訓練及び職員向けの啓発を実施し、危機管理にかかる習熟度を維持していく。			
	(5)	費用対効果を踏まえたコスト削減等	■ 随意契約にあって、100万円を超える案件については、調達審査委員会で調達内容、方法等を審議し、調達の適正化を図った。 ■ 一般競争入札案件10件のうち一者応札は1件であった。 ■ その他少額案件についても、見積競争公告を実施し、複数者からの見積もりを徴取しコスト削減に努めた。	■ 十分な公告期間・実施期間の確保、業者への声かけ等、入札環境の整備。			
KPI 一般競争入札に占める一者応札案件の割合			R5実績	R6目標	R6実績	達成度	
			20.0%	15.0%以下	10.0%	○	